

令和3年度 中学校「学習指導・評価計画表」教科【保健体育】学年【2年】担当者 岡嶋一博

知: 知識・技能

思: 思考・判断・表現

態: 主体的に学習に取り組む態度

月	単元 題材	学習内容	観点	評価規準(B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
4 ・ 5	A 体つくり運動 オリエンテーション 集団行動 体つくり運動 新体力テスト	オリエンテーション 集団行動 体つくり運動 新体力テスト	知 思 態	<p>①体つくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>②体つくり運動の意義には、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める意義があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>③「体ほぐしの運動」には、「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」というねらいに応じた行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>④体の動きを高めるには、安全で合理的に高める行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>⑤体の動きを高めるには、適切な強度、時間、回数、頻度などを考慮して組み合わせる方法があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>⑥運動の組み合わせ方には、効率のよい組み合わせとバランスのよい組み合わせがあることについて、言つたり書き出したりしている。</p> <p>⑦集団行動の号令に合わせて的確に自分の体を動かすことができる。</p>	<p>・号令のテンポに合わせて動作をコントロールできる</p> <p>・より正しく深く理解し、仲間へのアドバイスなどに活かすことができる。</p>	<p>・毎時間の学習活動状況</p> <p>・活動状況(ルール等の把握)。</p> <p>・個人学習カードやグループノート。</p> <p>・定期テスト。</p> <p>・単元テスト。</p>

5 ・ 6	E 球技Ⅰ ベースボール型 ・ソフトボール ・スローライニング ・キャッチング ・バッティング ・ゲーム	<p>①球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>②球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>③対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選ぶことが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>④投球の方向と平行に立ち、肩越しにバットを構えることができる。</p> <p>⑤地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。</p> <p>⑥スピードを落とさずに、タイミングを合わせて塁を駆け抜けることができる。</p> <p>⑦打球の状況によって塁を進んだり戻ったりすることができる。</p> <p>⑧ボールの正面に回り込んで、緩い打球を捕ること。</p> <p>⑨投げる腕を後方に引きながら投げ手と反対側の足を踏み出し、体重を移動させながら、大きな動作でねらった方向にボールを投げることができる。</p> <p>⑩守備位置から塁上へ移動して、味方からの送球を受けることができる。</p> <p>⑪決められた守備位置に繰り返し立ち、準備姿勢をとることができる。</p> <p>⑫各ポジションの役割に応じて、ベースカバーやバックアップの基本的な動きをすることができる。</p>	<p>・より高い技術を体得し、その能力を十分に発揮することができる。</p> <p>・より正しく深く理解し、仲間へのアドバイスなどに活かすことができる。</p>	<p>・技能の習得状況。</p> <p>・個人やチーム練習、ゲーム等の活動状況。</p> <p>・活動状況(ルール等の把握)。</p> <p>・個人学習カードやグループノート。</p> <p>・定期テスト。</p> <p>・単元テスト、プリント。</p>
		<p>①提示された動きのポイントやつまづきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</p> <p>②提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p> <p>③学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。</p> <p>④練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取り組みを見付け、理由を添えて他者に伝えている。</p> <p>⑤仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。</p> <p>⑥体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。</p>	<p>・役割や係分担など、より積極的に果たすことができる。</p> <p>・より深く課題を考察し、創意工夫することができる。</p>	<p>・毎時間の学習活動状況。</p> <p>・係活動や役割分担。</p> <p>・個人学習カードやグループノート。</p> <p>・定期テスト。</p> <p>・単元テスト、プリント。</p>
		<p>①マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。</p> <p>②作戦などについての話合いに参加しようとしている。</p> <p>③一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを認めようとしている。</p> <p>④練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</p> <p>⑤健康・安全に留意している。</p>	<p>・より積極的・意欲的に活動できる。</p> <p>・自分だけでなく、仲間への配慮をし、指示するなどのリーダーシップをとれる。</p>	<p>・毎時間の学習活動状況</p> <p>・毎時間の出欠、見学、遅刻、忘れ物の状況。</p> <p>・個人学習カードやグループノート。</p>
6 ・ 7	D 水泳(クロール・イ平泳ぎ・背泳ぎ) ・クロール フォーム 速度 ターン ・平泳ぎ フォーム 速度 ターン ・背泳ぎ フォーム ・息継ぎ	<p>①水泳は、泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動であることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>②水泳は、それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>③クロールでは一定のリズムで強いキックを打つことができる。</p> <p>④クロールでは水中で肘を曲げて腕全体で水をキャッチし、S字やI字を描くようにして水をかくことができる</p> <p>⑤クロールではプルとキック、ローリングの動作に合わせて横向きで呼吸をすることができる。</p> <p>⑥平泳ぎでは蹴り終わりで長く伸びるキックをすることができる。</p> <p>⑦平泳ぎでは肩より前で、両手で逆ハート型を描くように水をかくことができる。</p> <p>⑧平泳ぎではプルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して息を吸い、キックの蹴り終わりに合わせて伸び(グライド)をとり進むことができる</p> <p>⑨背泳ぎでは両手を頭上で組んで、腰が「く」の字に曲がらないように背中を伸ばし、水平に浮いてキックができる。</p> <p>⑩背泳ぎでは水中では、肘が肩の横で60～90度程度曲がるようにしてかくことができる。</p> <p>⑪背泳ぎでは水面上の腕は肘を伸ばし、肩を支点にして肩の延長線上に小指側からまっすぐ入水することができる。</p> <p>⑫クロール、平泳ぎのスタートでは、水中で両足あるいは左右どちらかの足をプールの壁につけた姿勢から、スタートの合図と同時に顔を水中に沈め、抵抗の少ない流線型の姿勢をとって壁を蹴り泳ぎだすことができる。</p> <p>⑬クロールのターンでは、片手でプールの壁にタッチし、膝を抱えるようにして体を反転し蹴りだすことができる。</p> <p>⑭平泳ぎのターンでは、両手で同時に壁にタッチし、膝を抱えるようにして体を反転し蹴りだすことができる。</p>	<p>・より高い技術を体得し、その能力を十分に発揮することができる。</p> <p>・より正しく深く理解し、仲間へのアドバイスなどに活かすことができる。</p>	<p>・技能の習得状況。</p> <p>・個人やバディ練習等の活動状況。</p> <p>・活動状況(ルール等の把握)。</p> <p>・個人学習カードやグループノート。</p> <p>・定期テスト。</p> <p>・単元テスト、プリント。</p>

			<p>思</p> <p>①自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ②健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ③水泳の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。</p>	<p>・役割や係分担など、より積極的に果たすことができる。 ・より深く課題を考察し、創意工夫することができる。</p>	<p>・毎時間の学習活動状況 ・係活動や役割分担。 ・個人学習カードやグループノート。 ・定期テスト。 ・単元テスト、プリント。</p>
		<p>8 9 陸上競技 「短距離走」「ハードル走」ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100m走 ・50mハードル ・400m走 ・ハンドボール投げ 	<p>知</p> <p>①陸上競技は、自己の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びを味わうことができることについて、言ったり書き出したりしている。 ②陸上競技は、古代ギリシアのオリンピア競技やオリンピック・パラリンピック競技大会において主要な競技として発展した成り立ちがあることについて、言ったり書き出したりしている。 ③陸上競技の各種目において用いられる技術の名称があり、それぞれの技術で動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ④陸上競技は、それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出したりしている。 技能…技 ①クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができる。 ②自己に合ったピッチとストライドで速く走ることができる。</p>	<p>・より高い技術を体得し、その能力を十分に発揮することができる。 ・より正しく深く理解し、仲間へのアドバイスなどに活かすことができる。</p>	<p>・技能の習得状況。 ・個人やチーム練習等の活動状況。 ・活動状況(ルール等の把握)。 ・個人学習カードやグループノート。 ・定期テスト。 ・プリント。</p>
			<p>思</p> <p>①提示された動きのポイントやつまづきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 ②提供された練習方法から、自己の課題に応じて、動きの習得に適した練習方法を選んでいる。 ③練習や競争する場面で、最善を尽くす、勝敗を受け入れるなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 ④学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ⑤体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。</p>	<p>・役割や係分担など、より積極的に果たすことができる。 ・より深く課題を考察し、創意工夫することができる。</p>	<p>・毎時間の学習活動状況。 ・係活動や役割分担。 ・個人学習カードやグループノート。 ・定期テスト。 ・プリント。</p>
			<p>態</p> <p>①陸上競技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ②勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。 ③用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 ⑤健康・安全に留意している。</p>	<p>・より積極的・意欲的に活動できる。 ・自分だけでなく、仲間への配慮をし、指示するなどのリーダーシップをとれる。</p>	<p>・毎時間の学習活動状況。 ・毎時間の出欠、見学、遅刻、忘れ物の状況。 ・個人学習カードやグループノートの内容。</p>